

2022年6月8日

東ソー株式会社

公益財団法人相模中央化学研究所

「有機EL用電子輸送材料の開発」が第47回「井上春成賞」を受賞

公益財団法人相模中央化学研究所所長 相原 秀典および東ソー株式会社（社長：栗田 守）は、国立研究開発法人科学技術振興機構より「第47回（令和4年度）井上春成賞」において「有機EL用電子輸送材料の開発」の受賞発表を受けました。

有機ELディスプレイは、1997年に世界に先駆けて量産に成功した「日本発」のデバイスです。高画質、薄型、フレキシブル性に特徴があり、現在、様々な製品に使われています。しかし当初は、液晶ディスプレイに比べて消費電力が大きいという技術課題があり、普及できない時期がありました。

有機デバイスの課題は、無機デバイスに比べ電気が流れにくい（電荷移動度が遅い）ことです。特に高い電子輸送能力を備えた有機材料がないことが、有機ELディスプレイの消費電力が下がらない原因でした。そのため、様々なアクセプター性骨格をもつ電子輸送材料が提案されていましたが、我々は「トリアジン骨格」に着目し、高い電子移動度をもつ電子輸送材料を開発しました。現在は、スマートフォンを始め様々な用途に採用されています。

相模中央化学研究所は、従来困難であった「トリアジン中間体の非対称合成法」を確立し材料開発の幅を広げました。一方、東ソーは有機EL用電子輸送材料の量産法を確立し、製品化を実現しました。

井上春成賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして企業が開発し企業化した、我が国の優れた技術について研究者及び企業に対して贈られる賞です。東ソーおよび相模中央化学研究所では今回の井上春成賞の受賞を励みとし、有機系電子材料の研究開発を進めていきます。

■関連情報

井上春成賞ウェブサイト —第47回（令和4年度）井上春成賞表彰技術が決定—

<https://inouesho.jp/jyusyou/47/index.html>

東ソー研究技術報告 第50巻

「1, 3, 5-トリアジン化合物の合成と電子輸送性」

https://www.tosoh.co.jp/technology/assets/2006_02_02.pdf

■お問い合わせ先

〒105-8623 東京都港区芝 3-8-2

東ソー株式会社 広報室

TEL 03-5427-5111

〒252-1193 神奈川県綾瀬市早川 2743-1

公益財団法人 相模中央化学研究所 広報部

Email: scrc@sagami.or.jp

TEL: 0467-77-4112

FAX: 0467-77-4113